



TITLE:

表紙 (泌尿器科紀要 第35巻第11号) 購読要項・投稿規定

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙 (泌尿器科紀要 第35巻第11号) 購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要
1989, 35(11): 1993-1994

ISSUE DATE:

1989-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/116726>

RIGHT:

泌尿紀要

Acta Urol. Jpn.

ACTA UROLOGICA JAPONICA

Vol. 35, No. 11 November 1989

泌尿器科紀要

第35巻 第11号 1989年11月

【原著】

- 成長期先天性副腎過形成(CAH)の臨床的検討……………南部 明民・ほか…1831
慢性透析患者における血中オステオカルシンの臨床的意義……………西尾 正一・ほか…1839
腎細胞癌55例の臨床的検討……………齋藤 和男・ほか…1847
直腸癌術後排尿障害の臨床的観察および Mecobalamin の使用経験……………村山 和夫・ほか…1853
女子ストレス尿失禁に対する Endoscopic needle bladder neck suspension……………原 眞・ほか…1859
進行性前立腺癌に対する Cyclophosphamide の大量間歇療法の経験……………客野 宮治・ほか…1865
進行性睪丸腫瘍に対する PVB 療法の臨床的検討……………中尾 昌宏・ほか…1871
睪丸捻転症16例の臨床的観察……………佐藤 信夫・ほか…1877
最近22年間の小児尿路結石症例についての臨床的検討……………岡本 圭生・ほか…1881
過去10年間ににおける尿路結石入院患者の臨床的検討……………友政 宏・ほか…1887

【症例】

- 肺、骨に転移を有する内分泌非活性性左副腎皮質癌の1例……………勝見 哲郎・村山 和夫…1893
副腎神経節細胞腫の1例……………妻谷 憲一・ほか…1897
馬蹄鉄腎に合併した腎細胞癌の1例……………喜多 芳彦・澤西 謙次…1903
急性高カルシウム血症と急性膀胱炎とを合併した腎癌の1例……………三方 律治・ほか…1907
気腫性腎盂腎炎の1例 一本邦報告32例の統計……………日比 秀夫・浅野 晴好…1911
腹腔内出血をきたした原発性尿管扁平上皮癌の1例……………大岡 均至・ほか…1915
両側尿管狭窄をきたした Aortic Perianeurysmal Fibrosis の1例……………金親 史尚・ほか…1921
膀胱癌、前立腺癌の経過中に出現した骨盤内悪性リンパ腫の1例……………小林 義幸・ほか…1925
胃癌による転移性膀胱腫瘍の1例 一特に粘液組織化学的検討を中心に……………橋本 紳一・ほか…1929
Crohn 病による膀胱回腸瘻の1例……………セレスタ GR・ほか…1935
膀胱自然破裂の1例……………安永 豊・ほか…1939
原発性女子尿道癌の1例……………高橋 浩・ほか…1943
女子尿道憩室結石の1例……………白石 和孝・ほか…1947
感染性ミューラー管嚢胞の1例……………趙 順規・ほか…1951
経尿道的に治療したミューラー氏管嚢胞の1例……………藤元 博行・ほか…1955
全身化学療法後に対側発生を見た精細胞性睪丸腫瘍の1例……………斎藤 政彦・ほか…1961
睪丸骨腫の1例(英文)……………佐々木紘一・ほか…1965
精巣海綿状血管腫の1例……………多田 実・ほか…1969
精巣鞘膜に発生した悪性中皮腫の1例……………後藤 修一・ほか…1973
Klippel-Trenaunay-Weber 症候群に合併した papillary cystadenoma の1例……………川上 寧・白田 和正…1977
著明な腫瘍形成をきたした男子外陰部 Paget 病の1例……………細見 昌弘・ほか…1981

【治験】

- Enoxacin の慢性前立腺炎に対する臨床効果……………勝見 哲郎・村山和夫…1985
尿路感染症に対する経口用セフェム剤 Cefixime の使用経験……………藤沢 真・ほか…1989

泌尿器科紀要

Advisory Committee

阿曾 佳郎	熊本 悦明	園田 孝夫	田崎 寛	前川 正信
町田 豊平	宮崎 重			

Editor : 吉田 修

Deputy Editor : 竹内 秀雄

Associate Editors

大川 順正	折笠 精一	熊沢 浄一	小磯 謙吉	友吉 唯夫
渡辺 決				

Editorial Board

生駒 文彦	上田 豊史	碓井 亜	大江 宏	大島 伸一
大島 博幸	大田黒和生	大野 良之	大森 弘之	岡 隆宏
岡島英五郎	岡田謙一郎	岡田 裕作	岡本 重禮	香川 征
垣添 忠生	片山 喬	加藤 哲郎	守殿 貞夫	河内 恒雄
河田 幸道	河邊 香月	川村 寿一	川村 猛	桐山 畜夫
栗田 孝	桑原 正明	郡 健二郎	古武 敏彦	小松 洋輔
小柳 知彦	近藤 厚生	酒徳治三郎	桜井 勗	里見 佳昭
島崎 淳	白井 将文	瀬川 昭夫	田中 啓幹	津川 龍三
土田 正義	東間 紘	中田 瑛浩	名出 頼男	東原 英二
久住 治男	平尾 佳彦	三品 輝男	宮川美栄子	三宅 弘治
宮崎 一興	矢谷 隆一	八竹 直	山田 英寿	山辺 博彦

Managing Editor : 松田 公志

Language Editor : 貝原 純子

Secretary : 太田 賢

購 読 要 項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都 5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投 稿 規 定 (1989年3月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、臨症統計、そのほかで英文または和文とする。原著、症例報告、臨床統計などは、他の雑誌に発表されたことのない内容でなくてはならない。
 - (1) 総説、原著論文、臨床統計、そのほかの普通論文の長さは、原則として、刷り上がり本文5頁(400字×20枚)までとする。
 - (2) 症例報告の長さは、原則として、刷り上がり本文3頁(400字×12枚)までとする。
 - (3) 和文原稿はできるだけワープロを使用し、B5版用紙に20字×20行、横書きとする。年号は西暦とする。文中欧米語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め(ただし、文節の始めに来る場合は大文字)、タイプで明瞭に記載する。
 - (4) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名(教授、部長、院長、科長、医長など)、著者名の順に和文で記載する。筆頭者名と、2語以内の running title を付記する。
例：山田，ほか：前立腺癌・PSAP
 - (5) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。ワープロ原稿可。
 - (6) 英文原稿はA4版原稿用紙にダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録本文の順に記した和文を付記する。
 - (7) 図(Fig.)、表(Table)は必要最小限にとどめ、普通論文では図10枚、表10枚まで、症例報告では図5枚、表3枚までとする。
図、表、写真などはそれぞれ台紙に貼付し、それらに対する説明文は別紙に一括して一覧表にする。説明文は英文を原則とする。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。写真はトリミングし、図・表は誤りのないことを十分確認のうえ、トレースして紙焼したもの(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。写真は明瞭なものに限り、必要なら矢印(直接写真に貼付)などを入れ、わかりやすくする。
 - (8) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文の文脈順に入れる(アルファベット順不可)。その数は30までとする。
例：山田^{1,3,7)}，田中^{8,11-13)}によると…

雑誌の場合—著者名(全員)：標題、雑誌名 巻：最初頁-最終頁、発行年

例 1) Finney RP, Sharpe JR and Sadlwski RW: Finney hinged penile implant: experience with 100 cases. J Urol 124: 205-207, 1980

例 2) 竹内秀雄，上田 眞，野々村光生，飛田収一，大石賢二，東 義人，岡田裕作，川村寿一，吉田 修：経皮的腎砕石術(PNL)および経尿道的尿管砕石術(TUL)にみられる発熱について，泌尿紀要 33：1357-1363，1987

単行本の場合—著者名(全員)：標題、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

例 3) Robertson WG, Knowles F and Peacock M: Urinary mucopolysaccharide inhibitors of calcium oxalate crystallization. In: Urolithiasis Research. Edited by Fleish H, Robertson WG, Smith LH and Vahlensieck W. 1st ed., pp. 331-334, Plenum Press, London, 1976

例 4) 大保亶一：腫瘍病理学。ベッドサイド泌尿器科学，診断・治療編。吉田 修編，第1版，pp.259-301，南江堂，東京，1986

- (7) 原稿は，オリジナル1部とコピー2部（図，写真は3部ともオリジナル）を書留で送付する。万一にそなえて，コピーを手元に控えておくこと。

（原稿送付先）

〒606 京都市左京区聖護院山王町18

メタボ岡崎 301 号

泌尿器科紀要刊行会宛

- (8) 論文の採否：論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される。
- (9) 論文の訂正：査読審査の結果原稿の訂正を求められた場合は，40日以内に，訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて，編集部宛送付すること。なお，Editor の責任において多少字句の訂正をすることがある。
- (10) 校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
- (11) 投稿にあたっては，本誌を十分参考にして体裁を守ること。

3. 掲載

- (1) 論文の掲載は採用順を原則とする。

迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円，6頁以上は1頁毎に10,000円を加算したものを申し受ける。

- (2) 掲載料は1頁につき和文は5,500円，英文は6,500円，超過頁は1頁につき7,000円，写真代，凸版，トレース代，別冊，送料などは別に実費を申し受ける。

- (3) 薬剤の効果，測定試薬の成績，治療器械の使用などに関する研究論文(治験論文)については，掲載料を別途に申し受ける。

4. 別冊：実費負担とし，著者校正時に部数を指定する。

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, the director's name, key words (less than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer・PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details refer to a recent journal.